

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年09月07日

計画の名称	やすらぎのある安全・安心な都市公園づくり事業（通常 第二期）											
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	秋田市, 秋田県											
計画の目標	<p>秋田県内の都市公園は、施設の老朽化が進んでおり、安全で安心な施設の提供が十分に出来ず、利用者に対するサービス低下が問題となってきた。</p> <p>このような状況を改善するため、ライフサイクルコストの縮減効果を含んだ維持管理計画、改修計画を作成し、これを基に、施設の改築、更新を適宜すすめていくことにより、県民が満足して利用する公園を整備・管理していく。</p> <p>さらに、公園内の環境美化にも考慮し、利用者へやすらぎと潤いのある、いきいの空間を創造する。</p>											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	451	A	451	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	公園施設の拡充・更新により、利用者へのサービス向上が図られることから、県内都市公園の県民利用率（県内都市公園総利用者数 / 県人口）を175%から180%に増加させる。 事業対象となっている県内都市公園の年間利用者数を測定し、県民利用率を算出する。 県民利用率（県内都市公園総利用者数 / 県人口） 利用者測定をしている公園に限る（県立の3公園、千秋公園、大森山公園、能代河畔公園、横手公園の計7公園）	175%	178%	180%
2	平成31年度までに、秋田市内10箇所において温室効果ガス吸収源対策に資する公開緑地の整備を行い、秋田市における温室効果ガス吸収源対策に資する公園緑地の総量を3.0haとする。 秋田市内における温室効果ガス吸収源対策に資する公園緑地の整備面積 秋田市内における温室効果ガス吸収源対策に資する公園緑地の整備面積	0ha	2ha	3ha

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	秋田市	直接	秋田市	-	-	秋田市吸収源対策公園緑地事業(楢山・牛島地区)	楢山街区公園等10箇所の植栽、広場整備等	秋田市						185	-	
	A12-002	公園	一般	秋田市	直接	秋田市	-	-	秋田市公園事業特定計画調査	秋田市緑の基本計画改定	秋田市						12	-	
	A12-003	公園	一般	秋田県	直接	秋田県	-	-	秋田県公園施設長寿命化対策支援事業	県立小泉瀉公園ほか2箇所(遊具、園路、トイレ等更新、テニスコート改修)	秋田市、北秋田市						254	策定済	
												小計						451	
												合計						451	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
各事業主体の評価を秋田市建設部公園課で取りまとめた。	令和3年度
	公表の方法
	事業主体のホームページで公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	計画的な温室効果ガス吸収源対策に資する公園緑地の整備が実現可能となった。 施設の老朽設備を改築・更新したことにより、利用者への安全・安心なサービスの提供が可能となった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
温室効果ガスの効果的な吸収に資するため、公園植栽等の緑化対策を継続的に実施していく。 公園施設長寿命化計画に基づき、施設の維持・修繕・更新等を効率的かつ効果的に行っていく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	県民利用率	
	最終目標値	180%
	最終実績値	200%
2	公園緑地の総量	
	最終目標値	3ha
	最終実績値	3ha